

性は②契約書の瑕疵担保責任条項の有無は—との質問があり、市当局から①情報システム課、財政当局等と相談しており、過去のシステム変更等の実績からも妥当と考える②契約書に明記し、万一の場合金銭的補償がなされる—との答弁があった。

さらに委員から、想定外の事態発生時には、瑕疵担保責任条項により速やかな対応を、との要望があり、市当局から、厳正に対処する、との答弁があった。

関連して委員から①高齢者世帯へのごみ収集手法の研究と、高齢者が多い地域への可燃ごみ等ふれあい収集事業のモデル実施を②合併地域への消防緊急通信指令システム導入時に不都合がないよう、現場と十分な連携を—との要望があった。

経済委員会

平成18年度一般会計補正予算（第一号）について一件の議案が付託され、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

郡漁港高潮対策事業

郡漁港の防災対策事業について、委員から、平成16年台風16

号の高潮により被災した地区住民は非常に心配している。防潮堤の高さについては、市の意見も反映されているのか、との質問があった。



防災対策が待たれる郡漁港

これに対し市当局から、防潮堤の高さは、県が決定した既往最高潮位を基準に、風向き、波の高さなど、さまざまな状況から余裕必要高を計算し、18年度に行うボーリング等の調査を基に、詳細な設計を行う中で、水産庁と協議していく、との答弁があった。

農家基本台帳システム

平成19年1月予定の合併に向け、農地情報の管理を行う農家基本台帳システムを統合し、建

部町、瀬戸町のデータを移行させる電算機業務委託事業について、委員から、作業上一番の支障は、また、契約方法についてはどう考えているのか、との質問があった。

これに対し市当局から、前回の合併では予算議決から合併期日まで非常に短期間であったことが一番の障害だった。今回の統合作業では業務に支障を及ぼさないためにも合併期日までには完了するよう準備を進めていく。契約方法については、指名審査委員会において方向性が示された上で決定することになる、との答弁があった。

建設委員会

市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例の制定についてほか六十七件の議案が付託され、三議案は賛成多数で、その他の議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

榎東町公園整備事業

榎東町公園整備事業を盛り込

んだまちづくり交付金事業費について、委員から①同事業の対象範囲が広すぎるのではないかと②同公園を無理やり対象区域に含めたのではないかと—との質問があり、市当局から①国から具体的な範囲の基準は示されていないが、既に事業の認証を受けており、区域の設定については妥当という判断を得たものと認識している②同公園は公園整備計画の中でも優先度が高く、また、市として掲げている環境共生型まちづくりというテーマで、一体的・集中的に事業を行い、波及的効果が生み出せるという判断をし、対象区域とした—との答弁があった。

また委員から、既にまちづくりに交付金制度が創設されていたにもかかわらず制度を活用しなかった平成16年度と比べ、その後どのような状況の変化があったのか、との質問があり、市当局から、当時、同公園整備事業の他に具体的に計画されていた事業がなく、交付金制度の適用が困難と判断した。その後、頭高山緑地の整備、元気の館事業等、周辺地域において具体的な事業計画等が煮詰まり、これらの事業を環境共生型のテーマで、体系的・集中的に取り組んでいくため今回申請に至った、との答弁があった。

文教委員会

平成18年度岡山市一般会計補正予算（第一号）についてほか一件の議案が付託され、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

市立学校条例の一部改正

市立大野小学校の温水プールを一般開放の対象施設に加え使用料を定めるための、岡山市立学校条例の一部改正について、委員から、他の学校のプールも一般開放を行い市民にスポーツをする機会や健康増進の機会を与えるべきではないか。また、使用料は大人一回三百円、中学生以下一回五十円だが、本条例は本市の学校すべてに適用される条例であるため、もし他の学校でもプールを開放するならば、条件が異なるにもかかわらず同じ使用料になる。温水プールの料金と一般のプールの料金をそれぞれ規定すべきではないか、との指摘があり、市当局から、他の学校でも条件が整い、一般開放を行うということになれば、実施要項に使用料減額の条項を追加することで対応したい、との答弁があった。